

ユニオンファンド 月次レポート

第 133 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2019年12月5日作成

MONTHLY TOPIC

資産寿命を延ばす

6月に炎上した「老後 2000 万円不足」問題。ほとぼりは冷めたようですが、言うまでもなく老後資金の問題自体が消え去ったわけではありません。火元となった金融審議会の報告書にも書かれていた「資産寿命を延ばす」ことを中心に、7月発行のこのレポートで書き足りなかったことをいくつか補足してみます。

増やしながら使う、使いながら増やす

寿命が延びればおカネを使う年数も増えます。一方、金利はほとんどゼロですからおカネはなかなか増えません。持っている金融資産の寿命も延ばす努力をしないと、途中で無くなってしまう可能性が高まります。

一般に、資産寿命を延ばすための方法として挙げられるのは、①定年後も働いて収入を得る、②生活を見直して出費を抑える、③資産の運用を続けて増やす、などです。知人に、この③をうまくやり続けている方がいます。

20年近く前のことですが、自営業で退職金もなかったその方は、先のことがいよいよ心配になり、いろいろ調べたり勉強会に行ったりした結果、これなら自分にもできそうだというので株式投信の積み立てを始めたのだそうです。リーマンショックで株価が大きく値下がりした時も、頑張って継続されました。

現在は、本当に欲しいもの、したいことのために、先の心配をしないでおカネを使うことができるようになったそうです。いくら使っても、残った部分がまた値上がりするので減らなくなった、ともおっしゃっています。

急におカネを手にした人が陥りやすい罠

一方、別の何人かの知人は、いずれも大手企業を退職した方たちでしたが、リーマンショックもあって資産を大きく減らしてしまいました。退職金として普段目にしない大金を手にし、金融機関に勧められるままいくつもの金融商品を買ってしまった点が共通しています。その後、損を取り戻そうと無理をして傷を広げた人もいれば、嫌になってすべて換金した人もいます。実に気の毒なことでしたが、後の祭りです。

経済的に恵まれているとは言えなかった最初の方が楽しく老後を過ごしておられる一方で、大企業に勤めたくさんの退職金をもらいながら、うまくいっているとは言えない人たちがいる、というのはどういうことなのでしょう。おカネをなんとかひねり出し、下げ相場も経験しながら苦労して増やしてきたのか、それとも投資に慣れる前にまとまったおカネをある意味唐突に手にしたのか、という違いが、結構大きかったようにも思います。

コツコツと増やす努力をし、時間をかけて投資に慣れていくことは、遠い道のりではありますが、資産を増やし資産寿命を延ばす王道ではないかと思っています。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

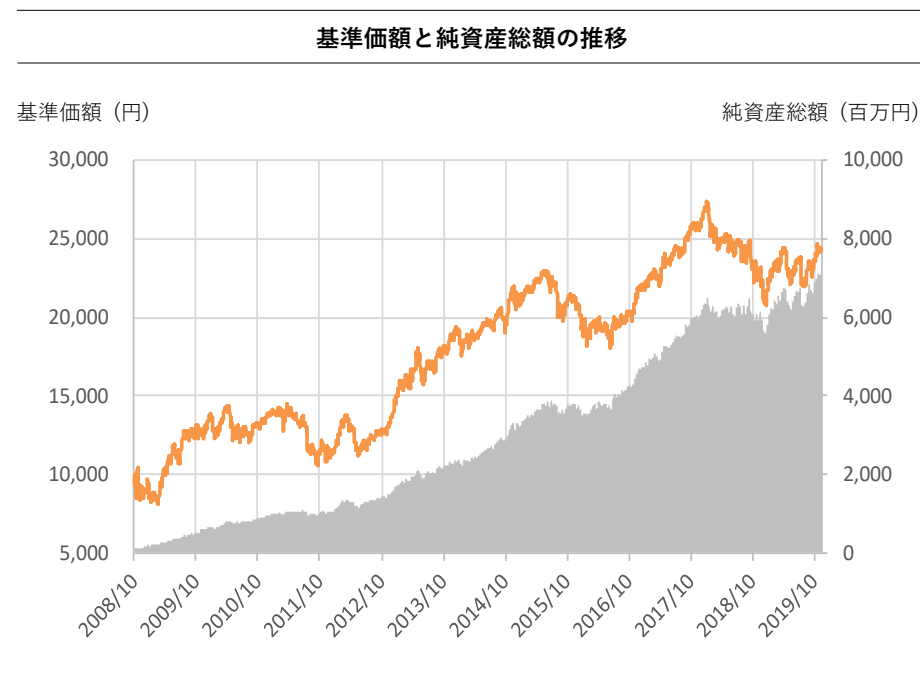
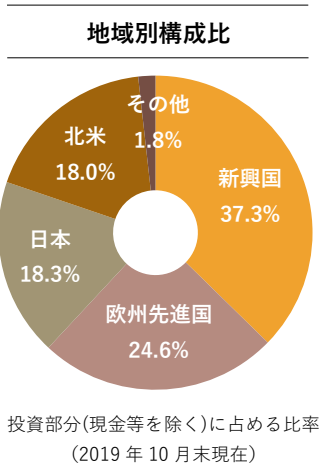
UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2019年11月末現在)

基準価額	
24,461 円	
純資産総額	
71 億 54 百万円	
期間別騰落率(%)	
1 ヶ月	1.79%
1 年	6.11%
3 年	15.69%
5 年	12.57%
10 年	100.01%
設定来	144.61%
複利年率(%)	
8.38%	

*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	6.1%	1.9%
スパークス F	日本	9.1%	1.9%
キャピタル F	欧米	14.0%	3.5%
ハリス F	欧米	18.4%	3.0%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	7.4%	4.3%
コムジェスト・エマージング F	新興国	32.7%	0.7%
現金等	-	12.2%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

- ファンドの特長**
- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
 - ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
 - ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
 - ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
 - ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2019年11月の市場動向と運用状況

投資環境と基準価額の推移

11月の世界の株式市場は総じて堅調に推移しました。背景には、2018年の初めから概ね2年にわたって減速が続いてきた世界経済が、底打ちあるいは反転の兆しを見せ始めていることが挙げられます。加えて、米中の貿易協議が部分合意に向かっているとの楽観的な見通しが広がったことも株価を支えました。

特に米国株は、ダウ平均をはじめ主要な株価指数が史上最高値を更新するなど好調に推移しました。一方、新興国の株価は、米国との貿易問題への警戒感などから中国の上海総合指数が下落して終わるなど、全般に軟調でした。

また、新興国は、ブラジルリアルが4年前の安値を更新するなど、為替市場でも弱めの推移となりました。

ユニオンファンドの基準価額は、全般的な株価の上昇を受けて値上がりしました。ただ、動きのさえない新興国株式への投資比率が高いことから、特に月の後半にかけて市場全体に比べ見劣りする結果となりました。

運用の状況

買付は見送りました。月末の組入比率は前月末とほぼ同水準の87.8%でした。

今後の見通しと運用方針

反発していた長期金利が11月後半以降は頭打ちとなっており、景気回復への期待は早くも若干弱まっている模様です。一方、米国では金融緩和予想が大きく低下しました。今年最後となる12月中旬のFOMC（連邦公開市場委員会）での利上げ予想は、11月初め以降、一旦消えていましたが、月末にかけて復活しました。金融緩和はこのところの景気底打ち期待の原動力の一つですから、緩和予想が弱まっていることには注意が必要でしょう。

米国の株式市場に関しては、投資家心理を示す指標のいくつかがすでになんかの強気サイドに傾いていることも気がかりです。たとえばVIX先物のショートポジションは、2017年末や2018年の秋など、株価が急反落する直前の水準を超えるほどに膨らんでおり、投資家が株価の持続的上昇に自信を持ち過ぎている可能性を窺わせています。

12月に入り、ブラジルとアルゼンチンからの輸入品の一部に関税を課すとトランプ大統領が発言したことから、米国の貿易政策についての警戒感が改めて浮上りました。中国との部分合意も遅れている模様です。こうした状況から、少なくとも一旦は上昇ピッチが鈍り、一服状態になる可能性が増していると見ています。

もっとも、景気の急速な冷え込みがおさまりつつあることは大きな好材料です。企業業績に関しても、低迷を脱して来年は回復に向かう可能性が高いと見られています。組入ファンドが投資している企業は、業績や成長性、株価の割安度などから見ていずれも魅力的です。中長期の値上がり期待は引き続き強いことから、市況の悪化局面を中心に買い増しを行っていく考えです。

運用責任者 久保田徹郎

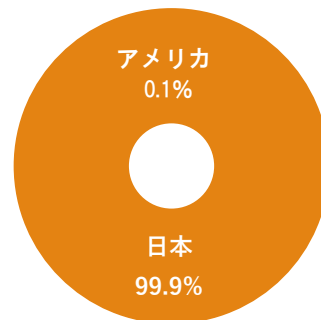
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



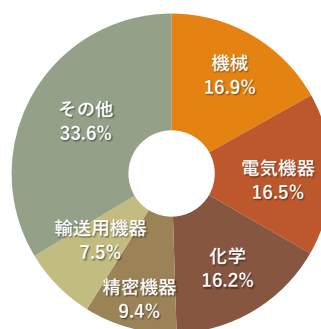
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	5.3%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 プリヂェストン	4.2%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
3 ダイキン工業	4.2%	日本	機械	エアコン世界首位
4 花王	4.1%	日本	化学	トイレペーパー首位
5 テルモ	3.6%	日本	精密機器	医療機器(カテーテル)
6 信越化学工業	3.2%	日本	化学	塩ビ・シリコンエポキシ世界大手
7 浜松ホトニクス	3.2%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
8 TOTO	3.1%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
9 トヨタ自動車	2.8%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
10 国際石油開発帝石	2.5%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
上位10銘柄	36.2%		現金等	7.7%

業種別構成比



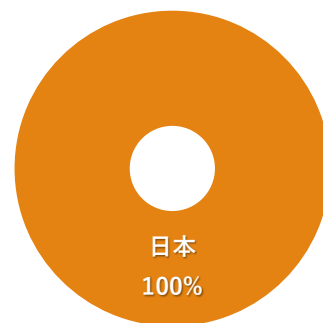
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年11月末現在>

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



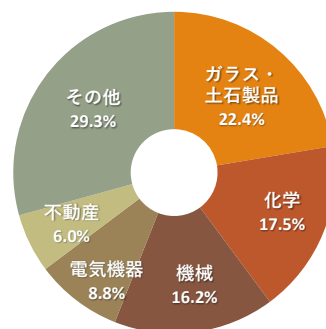
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケアHD		日本	卸売業	医療機器・設備
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
三浦工業		日本	機械	産業用小型ボイラー大手
オルガノ		日本	機械	水処理装置大手
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
エフビコ		日本	化学	食品トレイなど容器の大手
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
現金等			現金等	5.0%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年10月末現在>

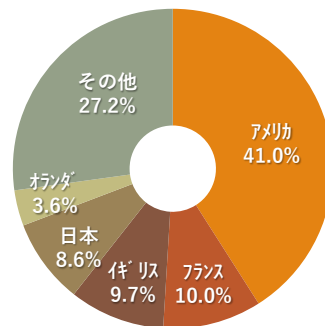
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



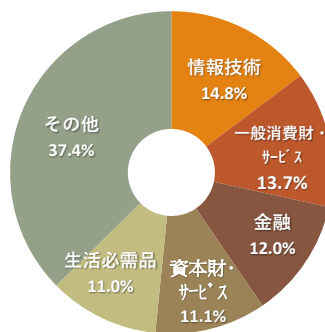
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Enel	2.2%	イタリア	公益	国内最大の電力会社
2 Alphabet	1.9%	アメリカ	コミュニケーションサービス	グーグルの持ち株会社
3 Ocado	1.9%	イギリス	一般消費財・サービス	世界最大級のオンライン・スーパー
4 ASML	1.8%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
5 Airbus	1.7%	フランス	資本財・サービス	世界有数の航空機メーカー
6 Microsoft	1.7%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
7 Pernod Ricard	1.7%	フランス	生活必需品	アルコール飲料、食品
8 AIA	1.5%	香港	金融	生保・金融サービス
9 Visa	1.5%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
10 Seattle Genetics	1.4%	アメリカ	ヘルスケア	癌治療薬等の研究開発
上位10銘柄	17.3%	現金等	5.8%	

業種別構成比



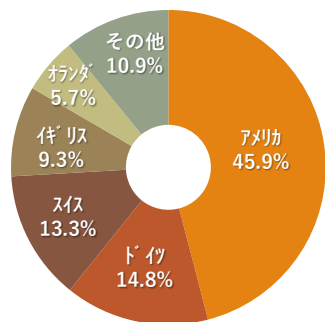
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年10月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



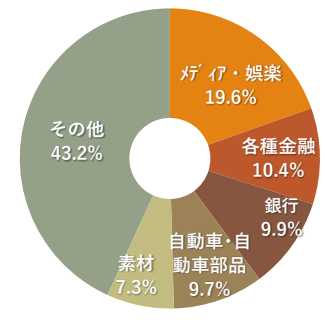
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 GLENCORE	5.0%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
2 BNP PARIBAS	4.6%	フランス	銀行	フランス大手銀行
3 DAIMLER	4.6%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
4 CNH INDUSTRIAL	4.5%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
5 CREDIT SUISSE	4.4%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
6 ALPHABET	4.3%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持ち株会社
7 BAYER	3.8%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
8 JULIUS BAER	3.5%	スイス	各種金融	プライベートバンク
9 HILTON WORLDWIDE	3.4%	アメリカ	消費者サービス	世界有数のホテルチェーン
10 CHARTER COMMUNICATIONS	3.4%	アメリカ	メディア・娯楽	ケーブルテレビ・携帯電話
上位10銘柄	41.5%	現金等	3.4%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年10月末現在>

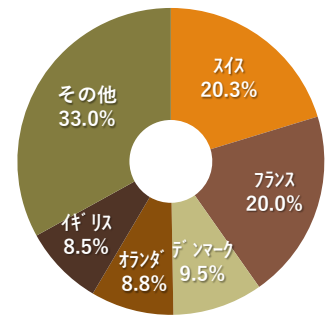
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



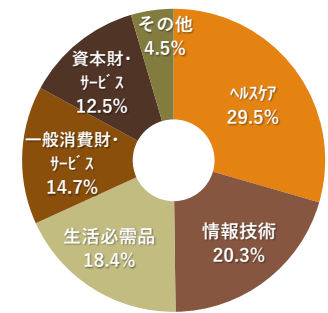
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ESSLORLUXOTTICA	4.5%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
2 ROCHE HD	4.4%	スイス	ヘルスケア	医薬品・診断薬
3 ASML HD	4.1%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
4 STRAUMANN HD	4.1%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
5 NOVO NORDISK	3.8%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
6 INDITEX	3.6%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
7 AMADEUS	3.5%	スペイン	情報技術	旅行予約システム
8 SAP	3.5%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
9 HEINEKEN	3.5%	オランダ	生活必需品	ビール生産世界大手
10 DASSAULT SYSTEMES	3.2%	フランス	情報技術	欧州大手3Dソフトウェア会社
上位10銘柄	38.4%	現金等	6.4%	

業種別構成比(マザーファンド)



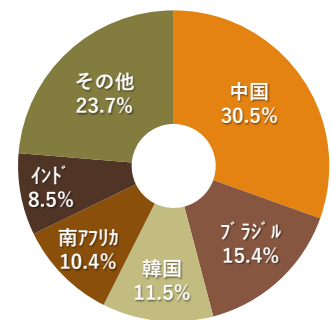
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年11月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



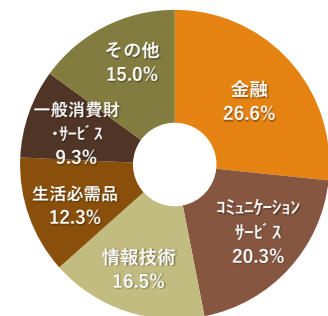
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 PING AN INSURANCE	7.0%	中国	金融	保険大手
2 NETEASE ADR	4.8%	中国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
3 TSMC ADR	4.6%	台湾	情報技術	半導体メーカー
4 SAMSUNG ELECTRONICS	4.2%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
5 BB SEGURIDADE	4.0%	ブラジル	金融	保険大手
6 COGNIZANT TECHNOLOGY	3.8%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
7 AIA	3.5%	香港	金融	生保・金融サービス
8 SANLAM	3.3%	南アフリカ	金融	アフリカの保険大手
9 POWER GRID OF INDIA	3.3%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
10 INNER MONGOLIA YILI	3.3%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
上位10銘柄	41.8%	現金等	1.4%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年11月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

■ 年末年始の営業日・営業時間等について

年末年始の営業日・営業時間および取引受付時間は、以下のとおりとなります。

	営業日	営業時間	取引受付時間
年末	2019年12月30日まで	9:00 ~ 17:00	15:00 まで
年始	2020年1月6日から		

※ ファンドを換金（解約）されるお客様で、年内に解約代金お受取りをご希望される場合は、12月23日（月）15時までにお申し込みください。

■ 目論見書の改定について

2019年12月21日にユニオンファンドの目論見書を改定いたします。

- ◎ 同日以降、新たな交付目論見書、請求目論見書を弊社ホームページへ掲載いたします。
- ◎ 今回の目論見書改定において重要な事項に変更はありません。
- ◎ 「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部までお申し出ください）。

■ 月次レポート受取方法について

【受取方法：「E-mail」または「不要（弊社HPで直接閲覧）」のご選択にご協力ください。】

現在月次レポートを「郵送」でお受取りのお客様で、インターネット・E-mailをご利用いただける環境をお持ちの方がおられましたら、「受取方法の「E-mail」への変更」に是非ご協力ください。

- ・ 月次レポートは、弊社ホームページ（HP）に掲載しております。
- ・ レポート受取方法で「E-mail」をご選択の場合、弊社HPに掲載の都度、メールにてご案内いたします。「不要」をご選択の場合でも、弊社HPにアクセスいただければ、いつでもご覧いただけます。
- ・ 弊社HPでのレポートは、「カラー」のため、グラフ等を鮮明にご覧いただけます。

ご変更は、弊社業務管理部へのご連絡（TEL:0263-38-0725）、または弊社HPの「取引口座関連（各種変更手続き）」 > 「メールアドレス・月次レポート受取方法の変更登録」でお手続きください。

エコの観点からも印刷紙の削減を目指しております。ご理解・ご協力のほど、何卒よろしく願いたします。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。